

# トラブルチェック

あわてずに対処しましょう!

## 樽には十分な気配りが必要です。

### ■夏の樽温度上昇による(30℃以上)トラブルに注意!

夏場の屋外でのイベントでは、樽の温度が上昇しやすく、ビールが泡だらけになり、販売できないトラブルが起こります。以下の内容を参考にして下さい。



### ■取扱いは丁寧に!

振動や衝撃をうけると泡だらけのビールになってしまいます。運搬などでの取扱いは丁寧に持って下さい。



### ■高積み厳禁!

樽は大変重いものです。お客様やスタッフの方に倒れてくると大変危険です。樽を高積みするのは絶対に避けて下さい。



## 炭酸ガスボンベの取扱いに注意しましょう

### 1.必ず立てて固定する。

ボンベは重量物です。倒れてケガをすることのないよう、必ず守って下さい。また、横にしたままの使用は減圧弁の故障の原因となります。



### 2.火気、直射日光を避け、高温(40℃以上)にならないようにする。

周囲の温度が高くなり炭酸ガスボンベの内圧が上昇すると、安全装置が作動して中の炭酸ガスが吹き出し、イベント販売が継続できません。



### 万一炭酸ガスが吹き出した場合は

- 1.決してあわてない。
- 2.屋内の場合は、換気を十分に行う。
- 3.ガスコンロ等の火気を止める。
- 4.凍結しているボンベに手を触れない。

\*ボンベ添付の安全上の注意をよくお読み下さい。

## 泡が多くなったら

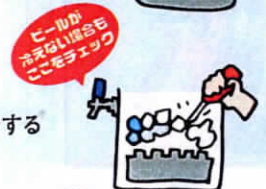
### ■樽内のビールの温度が上がっていませんか?

→樽の温度を30℃以下に保って下さい。



### ■氷のブリッジ現象が起きていませんか?

→上からアイスピック等で氷を叩いて、コールドプレートと氷が密着するようにして下さい。



### ■ボックス内の氷が溶けて無くなっていませんか?

→氷を補充して下さい。



### ■タップが半開きになっていませんか?

→全開にして注いで下さい。



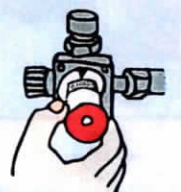
### ■樽の運搬や交換の際に振動や衝撃を与えていませんか?

→最低でも30分位の静置が必要です。



### ■炭酸ガスの圧力調整は正しいですか?

→炭酸ガスの圧力が注ぎ出しにふさわしいかどうか減圧弁のダイヤルをチェックしましょう。



### ■ビールホースに曲がりや異物はありませんか?

→曲がっている場合は直して下さい。異物がある場合は洗浄を行って下さい。



### ONE POINT アドバイス

紙コップやポリコップの上手な注ぎ方にはちょっとしたコツがあります。

- 紙コップやポリコップの上部は柔らかく変形しやすいので、比較的強度がある下部を持ち、底に小指を添えて手からすべり落ちるのを防いでください。
- 紙コップやポリコップは、通常のガラスジョッキと比べると泡が多くなりやすいので、十分にコップを傾け、できるだけ静かにビールを注ぎ込みましょう。